

ARCO-134 20201028

神代植物公園

ローズウォーキング

2020

前回8月5日に実施した武蔵村山ひまわり公園ウォーキングから2週間が過ぎて、体温も味覚も安定していた。どうやらコロナを避けることが出来たようで安心でした。

8月26日に通常の定例会を開催し、10月のウォーキング計画を策定。年頭に計画していた神代植物公園に秋バラを見に行くことでスムーズに決定。東京でのコロナ感染者数は100人内外に、時々200人オーバーも。三密を避けながらのウォーキング計画の配慮はまだまだ必要ようだ。

今回の集合場所は、神代植物公園入り口前。吉祥寺駅もしくは三鷹駅からのバス便でのアクセスとなるが、三鷹からのほうが人出は少ないはず。

三鷹駅南側
デッキから
2番バスへ



京王目摩川の「ANGE」と練馬区光ヶ丘の四季の香りの両ローズガーデンでバラの開花は、かなり進んでいることを確認済なので気楽。晴れていれば、もっと良いのだけれど。



神代植物公園入り口前



植物園入口



神代植物公園・深大寺周り案内図



菊の花がお出迎え



広場のパンパス



ローズガーデン全景



10 月桜が一輪



秋バラ

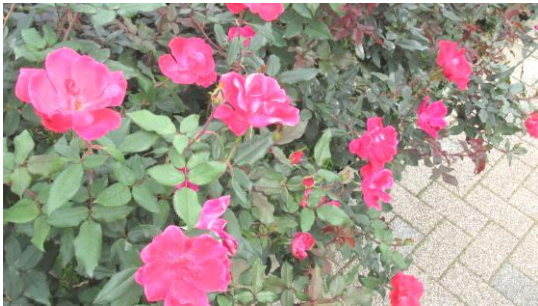
神代植物公園の秋バラは、約 300 品種 5,000 余本とのこと。事前に確認の両ローズガーデンとは、スケールもバラの種別も桁違いに美しく咲誇っている。同種のバラが何株もまとめて植えられている。気に入ったバラだけを写真に撮ってみる。その名前は、種類が目過ぎて追いかけることを諦め、カメラに収めることにした。



バラ園案内図









温室内

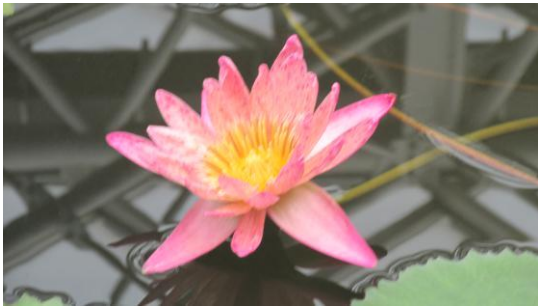
ラン・ペゴニア・睡蓮・サボテンが
賑やかに咲いていました。





ダリアガーデン

ダリアもバラに負けずに美しく！



記念写真

コロナ除けのマスクをしたままの二人です。折角の美男子(煌々爺)なのですが？



ランチ

深大寺門前の蕎麦屋さんは数多い。インターネットでは、判断しかねるので現地で確認・選択することになった。門前町を歩き回りが、どの蕎麦屋も満員で列をなしている。「門前」にて麦と3膳の蕎麦を頂いた。





深大寺そばごちそう「門前」



深大寺の名称由来

深大寺参拝

深大寺は、奈良時代の天正 5 年 (738 年) に深沙大王を祀ることにより開祖され、東京の一大厄除けや縁結びの寺として有名で、境内は本堂や元三大師堂など見どころが多い。

今日は、コロナ除けの祈願をさせて頂く。境内には、七五三詣の親子で賑わっている。



山門から本堂を望む



本堂



深大寺案内図



本堂右横のヒトツバタゴ



元三大師堂



ヒトツバタゴの実



本堂左横のナンジャモンジャ

付録・WINGS顛末

8月と9月は夏の暑さを避け、定例集会のみとし、秋・冬のウォーキング計画を練っていたのですが、この間に事件が起きました。

杉並区は、WINGSが定例会の拠点としている高齢者用施設「ゆうゆう広場」を閉鎖・廃止し、世代間交流を意図する「コミュニティふらっと」へと児童館を改修し再出発・移行することにしたのです。

WINGSの定例開催日と同施設の休館日がかさなっているため「さまよえるWINGS」となってしまったのです。これを機に、メンバーの何人かが自粛後の体力減ほかを理由に、退会したいとの希望を申し出られたのです。前2回のアジサイ・ひまわりウォーキングが、二人での実施となってしまい、心配していたことが現実になったのです。

幸い定例会場は、「コミュニティふらっと」の休館日は区発行の案内書の記載間違いで、無事に新施設を利用出来ることとなり、事なきを得たのですが、WINGSの会員数は5名に減少することとなりました。

何とかして新たに会員確保を計らないと厳しい状況となったのです。退会とはせずに、定例会・ウォーキングも参加したいときだけでもOKとし、会友として参加出来ることにしました。これから先、どのように変化して行くのか、楽しみであると同時に秋風も少々が吹いています。それでも次回の来月11月末には文京区の六義園で紅葉鑑賞ウォーキングを計画しています。

20201028

suginami WINGS

記 JUSTing